

quoque loculo semper duo, anatropa descendencia ellipsoidea circa 0.4 mm longa glabra apice elongato-obtusa.

Central Nepal: Rolwaling. 14000 ft. 27°55' N 86°23' E. In rock ledges, flowers purplish red (J.D.A. Stainton 4703 in June 29, 1964—Holotypus in BM; Isotypus in TI); Langtang. 12500–13000 ft. Overhanging rock, (flowers) brownish red (O. Polunin 200, BM).

This new species is related to *S. sinuatum* Royle ex Edgew., *S. sacrum* (R.-Hamet) H. Ohba and *S. nepalicum* H. Ohba, but they are distinguishable from each other by several characters as summarized in the table on page 327.

\* \* \* \*

ここでは *Sedum linearifolium* Royle に近縁な種類を扱った。

(5) *Sedum sacrum* (R.-Hamet) H. Ohba 本種は最初 R.-Hamet によって *S. linearifolium* Royle の変種として発表された。しかし、葉が母種で線状楕円形あるいは狭倒披針形ではほぼ全縁であるのに対して卵形で鈍歯のあること、がく片が三角状卵形に対して長楕円形あるいは倒卵状長楕円形である点など、明らかに相違する。1972 年にはカトマンズの南にある Phulchoki の山頂附近 (海拔 2600m), また Gosainkund への登山路である Trisuli Khola と Singum Gompa 間 (海拔 3000 m) の 2ヶ所で生育地等もよく観察することができた。既知のチベットに加え、British Museum と東京大学の資料で中部および西部ネパールにも分布することが判った。

(6) *Sedum nepalicum* H. Ohba (新種) 本種は中部ネパールのカリガンダキ流域の 3ヶ所で Stainton, Sykes および Williams によって、他の 1ヶ所で Stainton によって採集された。*S. sinuatum* Royle ex Edgew. に最もよく似ているが、花卉、がく片、子房の大きさや形が異なる。

(7) *Sedum callianthum* H. Ohba (新種) 中部ネパールの Rolwaling で Stainton によって、また Langtang で Polunin によって採集された。*S. sinuatum* や上記 (5) 及び (6) によく似た種類であるが、花は全体に紫色を帯びること、花卉の先端が鈍頭または円頭となることなどで明らかに異なる。

#### 正 誤 (Errata)

	頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)
Vol. 48	330	2	gibbositato	gibbositate
Vol. 49	257	9	distinguendum	distinguenda
	309	17	小花は	小穂は